

1. 概要

○地域のリスク情報や水害情報等について、テレビやラジオ等のそれぞれのメディアが有する特性を活かし、住民の理解と行動につなげ、「逃げ遅れゼロ」等を目指して、関係者で連携して実施するため、第2回 岩手地域メディア連携部会を開催。

※大規模氾濫減災協議会の部会として設立、目的意識の統一と連携強化を図るため、岩手県内の他協議会も含む3圏域合同で開催。

2. 日時／実施状況

日時：令和2年8月19日(水) 13:30～15:00

場所：岩手県水産会館 5階大会議室

出席者：テレビ局(4)、ケーブルテレビ局(8)、ラジオ局(1)、コミュニティFM局(2)、新聞社(3)、行政機関を含む33機関、約50名が参加

議事内容

1) 危機感が伝わるメディアとの連携策について

2) 取組内容・情報提供等

3) 意見交換

- ・必要と考える防災情報
- ・高齢者等に早めの避難を促すため取組
- ・昨年のメディア部会を受けて独自の取組

主な内容等

■必要と考える防災情報は

●コミュニティFM

➢ダム放流情報も頂けるようになったので、その情報と市からの情報で注意喚起を行っている。交通支障情報や道路被災情報等の情報もいただければ情報発信していきたい。

●自治体

➢安全に避難行動ができる日中の時間帯に避難判断をしなければならない難しさがある。日没前に避難勧告、指示を判断する情報が欲しい。

■高齢者等に早めの避難を促すための取組

●テレビ(NHK)

➢災害時には、日没までに避難を完了してもらうのが大事と考えている。それほどの水位・雨量でなくても、過去の災害の事例を参考に高齢者が具体的にイメージできるように取り組んでいる。
➢警戒レベル4になってから避難するのではなく、レベル4になった時には避難が完了する必要があることを強調している。また、高齢者に対し、家族が避難を促すように呼びかけている。

●自治体

➢要配慮者利用施設に防災ラジオを配布し、災害時にはFAXで追加情報を発信している。

●気象台

➢「早期注意情報(警報級の可能性)」が発表された場合は、高齢者の方には逃げるため備えをして頂きたい。
➢発表情報の内容への理解が進んでいないと感じられる。防災気象情報の内容・活用について理解頂くために、県や市町村の出前講座・研修等に協力していきたいと考えている。

■昨年のメディア連携部会を受けて独自に実施した取組

●テレビ(NHK)

➢特番で、ダムを含めた総合的な治水対策・水害対策の整備状況などを取り上げた。
➢ダムを含めた治水対策・水害対策やどのような訓練を行っているかなど、本部会で学んだこともニュースの中でも反映させて、地域の方にもより理解してもらえればと思って取り組んでいる。

●テレビ(民放)

➢L字で出す情報を少しでも多くしたいと考えている。Lアラートで情報伝達してもらえると、伝達できる情報が充実するのではと思っている。

●ケーブルテレビ

➢ダム放流通知をFAXで情報提供されるようになったので、テロップ方法(文字放送)で発信を行っている。

●コミュニティFM

➢洪水の際にはリスナーに対し、水位情報、今後の見通し、河川映像等が〇〇のHPで確認できることを番組で紹介している。



<開催状況>